

シンポジウム

2018年

12/16(日) 10:00~17:00

会場: 武蔵野大学有明キャンパス
1号館303教室

参加費 8,000円

申込方法ほか⇒詳細は裏面をご覧ください

日本におけるDV対応は、被害者が加害者から離れることを支援することを中心に行われてきました。DVのもう一方の当事者である加害者に対して、暴力の責任をきちんと引き受け、行動を変えるように働きかけて再発を防ぐことを目的とした民間団体による取組は、全国各地で実施され続けてきました。しかし、国や自治体による制度的な取組はこれまでほとんど行われていません。

被害者は自らの安全を守るために、仕事も生活の基盤も捨て、加害者から逃げ、身を隠し続けなければならないのでしょうか。近年では、子どもがいる場合には、DVが原因であっても離婚後の面会交流が被害母子にとって大きな課題となっており、加害者との接点を完全に断ち切ることは非常に難しくなっています。

本シンポジウムでは、日本におけるDV加害者への取組を振り返ると同時に、被害者支援の一環としての加害者プログラムの今後を展望します。

プログラム概要

第1部 鼎談「これまでのDV加害者への取り組み」

中村正(立命館大学 教授)
山口のり子(アウェア 代表)
司会 信田さよ子(RRP研究会 代表理事)

第2部 パネルディスカッション

「今後のDV加害者プログラムの展望」
千田有紀(武蔵大学 教授)
中田慶子(DV防止ながさき 理事長)
高野嘉之(Ph.D., John Howard Society of Grand Prairie)
ほか

第3部 「RRPの10年の歩み・そしてこれから」 プログラムの解説と実際

1

DV被害者は永久に
逃げ続けなければならぬのか
加害者プログラムの可能性

シンポジウム

DV被害者は永久に逃げ続けなければならないのか

～加害者プログラムの可能性～

2018年

12/16(日) 10:00～17:00(開場9:30)

【会場】武蔵野大学有明キャンパス1号館303号教室

【参加費】8,000円(当日、受付でお支払ください)

【申込方法】下記URL、QRコード、

またはRRP研究会ホームページ・WERCホームページからお申込みください。

<https://goo.gl/forms/kwz46XZCQIGKlvdC3>

*お申込みから10日以内に事務局より確認メールを返信します。

*当日、確認メールをプリントアウトしたもの、またはデバイス上の画面を、受付にてご提示いただきますので、保存してくださいますようお願いいたします。

*お申込みから10日以上たっても確認メールが届かない場合は、事務局にメールにてお問合せください。念のため、迷惑メールフォルダ等のご確認もお願いします。

事務局連絡先:rrpevent1@gmail.com



<プログラム>

- 挨拶 内閣府男女共同参画局暴力対策室 等
- 第1部 鼎談「これまでのDV加害者への取組」
司会 信田さよ子(原宿カウンセリングセンター所長・NPO法人RRP研究会代表理事)
ゲスト 中村正(立命館大学教授)
山口のり子(アウェア代表)
- 第2部 パネルディスカッション「今後のDV加害者プログラムの展望」
コーディネーター 春原由紀(武蔵野大学 名誉教授)
妹尾栄一(茨城県立こころの医療センター 副院長)
パネリスト 千田有紀(武蔵大学 教授)
中田慶子(NPO法人DV防止ながさき 理事長)
高野嘉之(Ph. D., John Howard Society of Grand Prairie)
- 第3部 「RRPの10年の歩み・そしてこれから」プログラムの解説と実際
森田展彰(筑波大学)・高橋郁絵(原宿カウンセリングセンター)
古藤吾郎(NPO法人アパリ)・古賀絵子(RRP研究会)

武蔵野大学有明キャンパス

〒135-8181 東京都江東区有明3-3-3

●交通のご案内

りんかい線 国際展示場駅下車 徒歩7分

ゆりかもめ 国際展示場正門駅下車 徒歩6分

